

事業番号	07 04 07	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ものづくり現場環境対応支援事業費			担当課	部局	産業労働部	
					課・室	ものづくり振興課	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-1 次世代産業創出			E-mail	<a href="mailto:mono@pref.nagano.lg.jp">mono@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出			実施期間	H27 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	ものづくり現場のエネルギー使用状況を「見える化」し、以下の目的を達成する。 (1) 県内ものづくり現場における効果の高い省エネルギー化の実現 (2) 企業のエネルギーコスト削減による収益性向上 (3) 工業技術総合センターの現場指導レベルの向上				
現状 (予算編成時)	ものづくりの現場では、エアコンプレッサの電力使用量は工場全体の約30%と言われ、使用量の削減が喫緊の課題となっている。				
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 工業技術総合センターが保有している圧縮空気稼働状況測定装置を利用して測定を行う事業である。			
	県民との協働による実施： 実施中				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	<p>専門家チーム(外部指導者及び工業技術総合センター職員)がものづくり現場において、「圧縮空気稼働状況測定装置」(工業技術総合センター保有)を用いて、エアコンプレッサの使用状況を調査し、エネルギーコスト削減を提案・実行することで成功モデルを創出する。</p>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
		項目	実施方法	H27事業実績	
				H27 (当初) (決算)	
	現場調査改善事業	直接	中小企業3社におけるエアコンプレッサの使用状況を調査し、エネルギーコスト削減を提案・実行し、省エネ化と収益向上につながる成功モデルを創出できた。		
			358	263	
			合計	358	263
				358	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算			358	358
	補正予算				
	合計(A)	0	0	358	358
	一般財源			358	358
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)			263	
概算人件費	職員数(人)			0.10	0.10
	概算人件費(C)	0	0	828	828
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	1,091	1,186

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
現場調査改善事例件数	-	3	3	達成	3

目標に対する成果の状況	目標どおり3社の成功モデルを創出した。 最も改善効果の高い企業では、生産状況に応じてコンプレッサの稼働状況を調整する等で、年間500万円以上の経費削減につながる見込みを得た。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き、ものづくり現場のエネルギーコストの削減を提案・実行することで、省エネ化の進んだものづくり現場の実現と企業の収益向上につなげていく。
--------------------	---